



観音正寺で 43年ぶりに秘仏・千手観世音菩薩像を開帳

安土町石寺の観音正寺で5月22日、秘仏の千手観世音菩薩像が開帳されました。聖徳太子が創建したと伝わる同寺は、平成5年の火災で本堂とともに本尊の「秘仏・千手千眼観世音菩薩」を焼失。平成24年に土蔵から「前秘仏・千手観世音菩薩」が発見されたのを機に、秘仏としての修復が行われました。火災が起きた5月22日に合わせて秘仏御開帳の儀式が復活し、43年ぶりに宮殿の扉が開かれました。秘仏は令和5年7月10日まで拝観することができます。

近江八幡市内の今後の催し

- 6月25日～27日 願成就寺(小船木町) 秘仏御本尊特別御開帳
- 11月3日～27日 長命寺(長命寺町) 聖徳太子御姿軸特別公開
- 11月26日～27日 長光寺(長光寺町) 秘仏御本尊特別御開帳

聖徳太子が薨去され、1400年。太子にまつわる伝承や物語が多く残る東近江地域（東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町）で「近江の聖徳太子1400年事業」がスタートし、5月21日に東近江市の太郎坊宮でオープニングセレモニーが開かれました。翌22日には、近江八幡市内でも催しが始まり、今後、太子ゆかりの社寺を中心に、秘仏の特別公開や特別御朱印めぐりなど、大人も子どもも楽しめるさまざまな催しが開催されます。皆さんも、太子の魅力や地域の新たな魅力を発見してみませんか。

今後の催しの詳しい内容は、下記ホームページで随時お知らせします。



<https://omi-st1400.com/>

5/22

近江八幡市内の催しがスタートしました

近江の聖徳太子1400年事業

開催期間

令和4年

5/21

令和5年

12/3

問 安土未来づくり課 TEL (46) 3141 FAX (46) 5320



近江八幡市のオープニングイベント

近江の太子祈りのリサイタル

ピアニストで作曲家の川上ミネさんによるリサイタルが5月22日、文芸セナリヨで開かれました。

愛知県出身の川上さんは、ドイツ・ミュンヘンの国立音楽大学とスペイン・マドリードの国立音楽大学院を卒業。世界各地で演奏旅行を行うほか、南米キューバでは、高校生に音楽を指導。現在はスペインと京都を拠点に活動されています。

この日は、東近江地域の魅力を3つのテーマに分けて、ご自身が作曲された10の楽曲を披露。このほか、名古屋商科大学非常勤講師で文学博士の筒井正さん、(一社)近江八幡観光物産協会事務局次長の林昌代さん、観音正寺住職の岡村遍導さんを迎え、太子の伝説が数多く伝わる東近江地域の歴史文化と自然、日本の「和」の精神と平和と安寧を願う祈りの心をテーマにトークが繰り広げられました。